

組み立てる (自分の考えの根拠を明確にする)	組み立てる (自分の考えをもつ基盤をつくる)	集める・整理する (「話すこと・聞くこと」の目的と必然をもつ)	次	教科横断的な学習とのつながり	
			時	学ぶ必然	話し合う必然
3	2	1	ねらい	学活・ST	総合的な学習の時間
<p>グループの提案をより説得力のあるものとするために、信頼性の高い情報を基に根拠を表したり、論理の展開を考えたりすることができる。</p>	<p>課題解決に向けて解決の手がかりを得るために、ブレインストーミングを行い、できるだけ多くのアイデアを出すことができる。</p>	<p>総合的な学習の時間を中心に取り組んできたコートジボワール支援活動について、現状の課題を明らかにし、課題解決に向けて取り組むための話し合いの方法について知ることができる。</p>	<p>願い 学級全員が納得できる結論が出せるようになりたい。</p>	<p>共生探究 周りの人々と共により良く生きることのねうちをつかみ、地域や社会の中で、自分の生き方について誇りをもちながら活動することができる。</p>	<p>〈話し合いの必然をもたせる活動〉 1. 広島への修学旅行へ向けての学習や、修学旅行での学びから、本当の平和について話し合い、周りの人々と共により良く生きるために私たちができることについて考える。 2. グローバルなつながりの中で長良中の先輩が大切にしてきたコートジボワール活動について知るとともに、コートジボワールがどのような国なのかを知る。 3. コートジボワールや支援活動について学んだことをまとめる。</p>
<p>①課題を確認する。 グループでの提案を絞り込み、その提案の根拠や意義を明確にしよう。</p> <p>②前回の学習を振り返り、グループでの提案を絞り込む。 自分たちにも実現できそうかな。 この取組の効果や影響力はどうだろうか。 方法を工夫するといいかもかもしれない。 ③絞り込んだ提案について、説得力を高めるためにその根拠や意義を考え意見を支える根拠をつくるための情報の取り扱いについて ☆情報の信頼性 (ICPT) ・インターネット→複数の情報源から収集した様々な情報を照らし合わせる。せながら確認する。 ・学校図書館の本↓書名、著者名、発行年、出版社等を確認する。 ・複数の情報を比較検討する。 ④グループの提案を全体会で発表する際に、より説得力のあるものとするため、論理の展開を考える。 ・話の構成 頭括型 尾括型 双括型</p>	<p>①課題を確認する。 コートジボワール支援活動についてできるだけ多くのアイデアを出し合おう。</p> <p>②ブレインストーミングの方法を確認する。 意見を否定しない。↓内容は吟味はせず、まずは多くのアイデアを出す。 根拠を求めない。↓発言は思い付きでも構わない。 ③できるだけ多くのアイデアを出し、記録する。 付箋にアイデアを書きそれを発表する。 できるだけ多くのアイデアを考え、出し合う。(ICPT) 意見に対する実現性や効果を基に付箋を仕分けする。</p>	<p>①課題を確認する。 コートジボワール支援活動についてできるだけ多くのアイデアを出し合おう。</p> <p>②ブレインストーミングでアイデアを出し合う ③絞り込む。 ④役割を決めてコートジボワールを支援する活動について学級で決めるため、合意形成に向けて話し合う。 ⑤学習を振り返る。</p> <p>〈学習の流れ〉 ①提案を考える ②ブレインストーミングでアイデアを出し合う ③絞り込む ④役割を決めてコートジボワールを支援する活動について学級で決めるために、合意形成に向けて話し合いについて学習の流れを確認する。 合意形成に向けて話し合うにはどのように話し合いを進めればよいのだろうか。</p>	<p>主な学習活動 学習課題</p>	<p>〈現状〉 ・多数意見に流されがちであり、少数意見を持った子が本当に納得できているのか不安がある。 ・限られた時間の中で全員が納得する結論を生むことが難しい。</p>	<p>〈特別活動の目標②〉 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思を決定したりすることができるようになる。</p>
<p>〈評価規準〉 情報の信頼性を高めるために情報源について確認したり、複数の情報を比較したりしている。(知識・技能②イ) 論理の展開を考え、話の構成を工夫している。(思考力・判断力・表現力A(1)イ) 〈評価の場面、方法〉 プリントの記述・発表メモの記述 〈手立て〉 教科書 P32 を振り返り、情報の信頼性について確認する。 P32 のスピーチでの学習を振り返り、話の構成について確認する。</p>	<p>〈評価規準〉 できるだけ多くのアイデアを出している。(主体的に学習に向かう態度) 評価の観点に従って提案を共通点や相違点を基に仕分けしている。(思考力・判断力・表現力A(1)ア) 〈評価の場面、方法〉 発言・プリント 〈手立て〉 これまで長良中の先輩が行ってきた活動を挙げることで活動のイメージをもたせる。</p>	<p>〈評価規準〉 総合的な学習の時間の中で取組を基に現状をよりよくしようと課題を考えている。(主体的に学習に向かう態度) 〈評価の場面、方法〉 発言・ノート記述 〈手立て〉 これまで長良中の先輩が行ってきた活動を挙げることで活動のイメージをもたせる。</p>	<p>評価規準及び手立て</p>	<p>・他者や社会とのかかわりに関する力 ・他者や社会とのかかわりに関する力 ・学習方法に関する力</p>	

教科横断的なつながり		合意形成する	分類整理する	次
学びを確実にする		(実践的に話し合いながら学びを確かなものにする)	(実践的に話し合う力を付ける)	
特別活動	社会科	5 (本時)	4	時
「巣立ち活動」 学級で行う活動 について話し合っ て決定し、実施する ことができる。	「模擬裁判をやっ てみよう」 事件、事案につい て役割分担を行い、 それぞれの言い分 を基に判断するこ とができる。	合意形成に向 かう活動を通して、 共通点や相違点を 捉え、誰もが共通し ている点を生かす ことで建設的に話 し合えることに気 付き、全員が納得す る結論へ導くこと ができる。	各グループの発 表を聞き、共通点か ら提案を分類・整理 することができる。	ねらい
④ 活動を振り返る。	① それぞれの役割でグループ分けを行う。 ② 事件について把握する。 ③ 目撃証言や状況(根拠となる事実)を基に、自分の立場を明らかにしながら話し合い、判決を導き出す。 ④ 活動を振り返る。	① 前時の振り返りから課題を設定する。 △ 全員の意見をまとめるのは難しかった。 ○ 活動の共通する目的や願いでまとめることができた。 ② 課題を確認する。 合意を形成するにはどのように話し合えばよいのだろう。 ③ 条件と観点を確認する。 条件より多くの人の参加 活動時間→3時間 観点 実現性 効果 ④ 互いの意見を生かして、合意形成に導く。 ・ 目的や条件を基に実現性や効果を確認しながら、共通する「願い」を大切にして合意形成を図る。 ⑤ 学習のまとめをする。	① 話し合いの目的を確認する。 各班の提案の共通点を基に分類で整理しよう。 ② それぞれの班の提案を発表する。 ③ 提案を分類・整理する。 ・ それぞれの提案の共通点や相違点を基に提案を整理する。 (提案例) 【伝える】 ・ コートジボワールの現状を伝えるパンフレットをつくって配布する。 ・ 支援物資(支援できるもの)の一覧を配布する。 ・ 支援を呼びかけるポスターをつくる。 【募る】 ・ 期間を設けて、全校生徒からの支援物資の回収を行う。 ・ 駅などで募金活動や支援物資の回収活動を行う。 【交流する】 ・ コートジボワールの方にどんな支援が望ましいのかを聞く会を開く。	主な学習活動 学習課題
① これまで過ごした長良中に感謝の気持ちを表すためにどのようなことができそうか、学級で提案を出し合う。 ② 実現性や効果を考えながら合意を形成しながら提案をまとめる。 ③ 実際の活動を行う。 ④ 活動を振り返る。	多くの提案を誰もが納得するものにまとめることは難しいと思っただけ、今回の話し合いでは、考えは違っても、その違いを生かそうとしたり、共通する「願い」に着目して意見を捉えたりしていくことで納得できる結論に導けることが分かった。今回付けた力は特別活動などの話し合いでも生かせると思う。	① 前時の振り返りから課題を設定する。 △ 全員の意見をまとめるのは難しかった。 ○ 活動の共通する目的や願いでまとめることができた。 ② 課題を確認する。 合意を形成するにはどのように話し合えばよいのだろう。 ③ 条件と観点を確認する。 条件より多くの人の参加 活動時間→3時間 観点 実現性 効果 ④ 互いの意見を生かして、合意形成に導く。 ・ 目的や条件を基に実現性や効果を確認しながら、共通する「願い」を大切にして合意形成を図る。 ⑤ 学習のまとめをする。	① 話し合いの目的を確認する。 各班の提案の共通点を基に分類で整理しよう。 ② それぞれの班の提案を発表する。 ③ 提案を分類・整理する。 ・ それぞれの提案の共通点や相違点を基に提案を整理する。 (提案例) 【伝える】 ・ コートジボワールの現状を伝えるパンフレットをつくって配布する。 ・ 支援物資(支援できるもの)の一覧を配布する。 ・ 支援を呼びかけるポスターをつくる。 【募る】 ・ 期間を設けて、全校生徒からの支援物資の回収を行う。 ・ 駅などで募金活動や支援物資の回収活動を行う。 【交流する】 ・ コートジボワールの方にどんな支援が望ましいのかを聞く会を開く。	評価規準及び手立て 〈評価規準〉 各グループの発表から共通する点を見つけることを通して、分類することができることに気づき、各提案を整理していくことができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)オ) 〈評価の場面、方法〉 ロイロノートの記述(プリントの記述)・発言 〈手立て〉 各班の提案を各自のタブレットのロイロノートに示し、それぞれの共通する点や相違点にメモを取り、メモを取ったりできる。行動面の共通点だけでなく、その行動の目的や願いにおける共通の思いに着目させる。
〈話し合いで付けた力を活用する場面〉 これまで過ごした長良中に感謝の気持ちを表すためにどのような活動を行うのか、合意を形成しながら決定する。	〈話し合いで付けた力を活用する場面〉 根拠を基にしながら、相反する立場の仲間の意見を取り入れながら相手を説得する。	意見の中で班の提案の生かせる点を座標軸に書き、建設的に考えられるようにする。 ロイロノートまたは、プリントに仲間の意見のよさや意見から読み取った願いについてメモしている生徒や、それを他の提案とつなげたりしている生徒の画面を挙げて、どのよ	〈評価規準〉 共通点を結合したり、良さを付加したりしながら建設的に考えている。(思考力・判断力・表現力 A(1)オ) 〈評価の場面、方法〉 ロイロノートの記述(プリントの記述)・発言 〈手立て〉 各班の提案を各自のタブレットのロイロノートに示し、それぞれの共通する点や相違点にメモを取り、メモを取ったりできる。行動面の共通点だけでなく、その行動の目的や願いにおける共通の思いに着目させる。	